

# 城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校  
スーパーサイエンスハイスクール  
活動報告紙

令和7年度 11月号  
SSH課発行

第1学年 学校設定科目

## ESD 探究「社会課題探究講座」

1学年のESD探究では、7月から約5か月間、「社会課題探究」の活動に取り組みました。生徒は、30の社会課題に関わるテーマの中から一つを選び、班で協力をして、そのテーマについて、問題の構造や原因、現在の取り組みを調べ、新たな解決策を思案しました。この活動は、ソーシャルビジネスを展開するボーダレス・ジャパンという企業にご助力をいただいています。9月には、ボーダレス・ジャパンが運営する学生のための社会起業プログラム「ゼロイチ」から学生起業家をお招きし、生徒のワークシートに対して、アドバイスをいただきました。社会課題について考える際の思考法等をお話いただき、生徒は非常に興味深く聞いていました。10月には、スライドを作成し、クラス発表を行いました。その後、各クラスから選出さ



全体発表の様子



クラス発表の様子

れた11班による代表発表も行われました。代表班は、ユニークで実現可能性の面までも考えられた社会課題の解決策を提案しており、生徒たちの社会課題に対する意識や発想力を刺激するものになっていました。

「社会課題探究講座」は、身の回りに存在していても、普段は能動的に目を向けることがない社会課題について、生徒が知識を得て、深く思考するよい機会になったのではないかと考えます。生徒は、次年度の課題研究の基礎を、この「社会課題探究講座」で作ることができました。

## 第69回日本学生科学賞 受賞報告

理数コース3年生は学校設定科目「理数ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ」で行ってきたグループ研究・個人研究の成果を論文にまとめ、最後に日本学生科学賞へ応募しています。今年は10班のグループ研究と4名の個人研究が応募し、以下の5班が努力賞を受賞することができました。地方審査・事前審査から次のステップへ進むことは叶いませんでしたが、次年度以降の後輩たちが更に頑張ってくれと期待しています。



「酢酸ナトリウム準安定域について」  
古賀遥・押舞桜・馬奈木柚衣



「水力発電の効率化」  
西牟田来吾・草野北斗



「発光バクテリア」  
一寸木快・村上大河



「乳酸菌に影響を与える食品の特定」  
川畑絢埜・濱地凜花・原愛果・石橋友希



「かいわれ大根の成長と成分」  
金大林・八代康太郎・  
大廣優菜・長野真子・西田香那